

令和4年度 大分県がん診療連携協議会 PDCAサイクルの情報共有・相互評価シート

病院名		番号
がん診療連携拠点病院・協力病院(共通活動)		12・16
分類 (該当を選択)	12. 相談支援センター 16. PDCAサイクルの確保	
計画事項(P)	1. がん相談支援センターの活用促進に向けて広報周知活動を実施する Covid-19感染状況を鑑み、各施設・各医療圏で計画した内容をがん相談支援センター間で共有し、広報する。 ①がんの初期よりがん相談支援センターを活用してもらうため、各施設で各種リーフレットを配布 ②各医療圏での広報活動、及び実施状況の共有 ③各施設の患者サロン実施状況の共有、及び情報発信 2. がん専門相談員の相談対応力向上を目指した研修会を開催する	
実施状況(D)	1. ①各施設で配布方法を工夫し、各種リーフレットを配布した。 ②情報交換会において、各がん相談支援センターの広報活動を一覧にして情報共有した。ポスター掲示や冊子配布以外に、ラジオでのアナウンスや公共図書館での広報活動を行っている。 ③患者サロンは、新型コロナウイルスの感染状況で流動的であったため、メーリングリストを利用し、タイムリーに情報共有していくことを合意した。各施設の患者サロンの開催アナウンスや、相談者へ情報提供できるよう各施設が把握している情報を共有した。 2. 令和5年3月10日に事例検討会形式で研修会を実施した。県内のがん専門相談員23名の参加があり、8事例の検討を行った。	
評価(C)	1. コロナ禍で活動に制限が生じる中ではあったが、各施設の広報周知活動の取り組みを共有し、可視化することで、自施設の活動に活かす機会となったと評価する。 患者サロンの情報共有についても、各施設が活動再開を模索する中、相談者への有用な情報提供や自施設の活動再開の参考にすることができた。 2. 初めての試みとして、研修会は、事例検討を実施した。参加全施設から好事例・困難事例の提出があった。参加者相互の悩みを共有し、対応を検討することで、相談の質向上につながる研修会になったと評価する。	
改善(A)	新型コロナウイルスが5類に移行したことで、広報周知活動や患者サロンを実施しやすい環境になると思われるため、がん相談支援センター間で情報共有しながら、より相談者の支援につながる活動を行う。 情報交換会を通して、行政とも活動内容を共有し、より効果的な広報周知活動を実施する。 研修会は、引き続き、日常の相談の質向上につながる内容を企画し、実施する。	
備考	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">                     継続                 </div>	
	終了	